

スチューデント・コモンズの整備(利用者スペースの改修)

昨年度、図書館が策定した『「Waseda Next 125」と図書館運営にかかる諸施策(実行計画)について』に掲げた「スチューデント・コモンズの整備」の第一歩として、2009年8月の夏季一斉休業期間を利用し、中央図書館の2階スペースを中心とした改修を行った。

スチューデント・コモンズの「コモンズ」(commons)は「共有」あるいは「公共の場」という意味であるが、図書館の施設として使われる場合にはinformationないしはlearning等の単語に続けて使われることが多く、図書館内の新たな学習環境を示す概念として用いられている。新たな学習環境とは、伝統的に図書館に設置されている静謐な閲覧室とは別にPC等の利用やグループ学習などが行える環境であり、その背景には、学部教育の学習理論が知の伝達から知識の創出・自主的学習に移行してきたことがある。

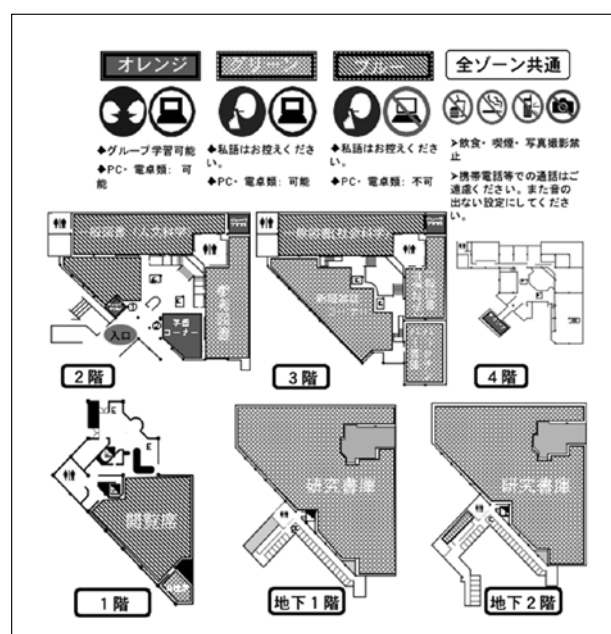
このコンセプトもまた北米など海外の大学図書館で普及し、我が国においてもその影響の下、大学図書館の新・改築時にコモンズを整備する図書館が増えてきた。当館も国内外の先進例の調査を文献および実地見学により行い、今回の改修においては、その成果に基づきながら学生の視点に立つという基本姿勢を示す意味も込め、独自にスチューデント・コモンズなる名称を採用した。

館内のゾーニング

今回の改修では、2階入口近くで大きな場所を占めていた図書カードボックスを撤去(一部移設)し、その場所と隣接する情報検索コーナーを合わせた区画、および1階、2階の休憩室の再整備を行った。図書カードボックスは、オンライン目録(WINEシステム)が整備されたため、その役割を終え、占有していたスペースを学習スペースに譲ることとなった。

カードボックスが占めていた場所は仕切り壁の無いオープン・スペースである。この場所でグループ学習をおこなう、つまり、多少の会話を許すすれば、例外的な小さな部屋(グループ学習室、PC・電卓室)を除き全館的に静かな環境を保つ中央図書館のルールを変更しなければならない。一方で、キャンパス内で静かな場所は図書館だけだという意見があるように、静かな環境を確保することも同時に図書館に期待されている。また、閲覧席での音を考えた時、利用者が持ち込むPCなどの機器の音の問題も無視できなくなってきた。

こうした一種のジレンマを解決するため、新たに図書館内での音に関するゾーン(区画)を明確に設定し、それぞれのニーズに応えることとした。具体的には、中央図書館内をグループ学習のための会話が可能でPC等の機器も使える「オレンジ」、会話は不可だがPC等の機器は使える「グリーン」、会話も機器も不可とする静かな「ブルー」という3つのゾーンに分けた。会話が可能なオレンジ・ゾーンは図書館では初めての試みであるため、小さなゾーンからスタートすることとした。



ゾーニングのポスター

什器類(テーブル、椅子)

中央図書館には、静謐な読書環境にふさわしい木製の重厚感がある落ち着いた色調の什器を揃えている。しかし、今回新たに設置するコモンズには、会話が可能な場所であること、人数に応じて効率よくスペースを活用できること等の条件や他大学の例を参考にして、今までの什器ではなくキャスター付きの明るい色の什器を揃えた。また、テーブルの形状は着席時に目線が直接交わらない「えんどう豆型」のテーブルを選択した。これは、他の図書館の什器と形状面からも差別化を図るためでもある。なお、円形のテーブルは正対して座るため目線が合ってしまい、4人がけの



改修後



改修前

テーブルでも一人で利用していることが多いと什器メーカーから指摘があったが、実際に他大学を見学した際複数人で使われているのが殆ど見られなかったため、円形テーブルは採用しないことにした。

また、海外の大学で学生からの要望が一番多いというPC用の電源設置は、当初、床から筒状の電源タワーを設置し、テーブルを動かして様々に組み合わせてもPC用の電源が利用できる仕様を計画していたが、諸般の事情により、フリーアクセスの床から各テーブルに電源を立ち上げテーブルトップをテーブル下に設置する形態とした。

今後の課題

図書館内の自学自習の場は、端末室のようにPCを並べる配置ではなく、ノート類や図書館の紙の資料も広げて自前のノートPCを使える環境が必

要あると考え、スペース整備を始めた。しかし、まだまだ中央図書館へ来館する早稲田キャンパスの学生はPC持参が少ない。大学院生との懇談の際に尋ねたところ、ノートPCは所用しており、あれば大変便利だが、重いため切羽詰らないと図書館(大学)まで持参しないと述べていた。国内の他大学図書館で好評を得ているノートPCの貸出しサービスも考えていきたい。

また、国内外の図書館におけるコモنزでは、ITのヘルプデスクやレポート/論文作成支援デスクが設置されている。このような図書館以外の学内組織により提供されるサービスと図書館のサービスを「ワンストップ」で提供する体制までには至っていないが、引きつづき学生・利用者の視点を大切に改善を続けていきたい。